

# 米国政府に対する抗議声明

米国トランプ政権は、韓国へのサード配備並びに日本への X バンドレーダー配備及びサード配備計画をすべて撤回し、北東アジアにおける軍事的緊張を高める政策を直ちに中止しろ！

米国政府はミサイル防衛体制づくりの一環としての日本の京丹後における X バンドレーダー配備強行に続き、今年に入って、韓国ソンジュにおけるサード配備を強行した。徹底的に弾劾する。

ソンジュへのサード配備は地盤住民の圧倒的な反対の声を無視し、きちんとした法的手続きを踏まないまま、無数の警官を動員して暴力的に執行された。辺事が現在も続いている。しかし、米国政府の言う「北の核ミサイルから韓国を守る措置」という口実は真っ赤な嘘だ。サードは朝鮮民主主義人民共和国、中国、ロシアの自國に向けた ICBM を無力化し、そのことを通じて北東アジアにおける軍事的主導性を握り続けることを狙ったものに他ならない。韓国及び日本の「防衛」などでは全く無い、侵略戦争突入を含む米国の軍事戦略を貫徹し、軍事支配を維持する政策そのものなのだ。

私たちは次の点を米国政府に要求する。

- 一、韓国ソンジュへのサード配備を直ちに撤回しろ。
- 二、朝鮮民主主義人民共和国への軍事的圧力を直ちにやめ、対話による問題解決の道を歩み、共和国との休戦条約を平和条約に転換するための努力を直ちに開始しろ。
- 三、日本の京丹後での X バンドレーダーを直ちに撤去しろ。サード配備計画を撤回しろ。
- 四、沖縄辺野古新基地建設を直ちに中止し、高江オスプレイバッドを撤去しろ。
- 五、岩国基地の強化を直ちに中止しろ。
- 六、オスプレイの在日・在沖米軍基地への配備と訓練を直ちに中止しろ。

2017年6月24日

アジア共同行動日本連絡会議